

## 夕張市民アンケート調査の結果

## 1. 調査の概要

「生活交通ネットワーク検討に関する夕張市民意識調査（以下「市民アンケート」）」を実施し、「現状の市民の移動実態」の調査による公共交通の顕在的・潜在的ニーズや、市内公共交通の利用状況や評価・改善すべき点などを把握した。

表 1 市民アンケートの実施概要

対 象	夕張市内全世帯（平成 24 年 9 月末現在の世帯数は 5,802 世帯）
配 布	主に広報誌への綴じ込みにより配布。（10 月上旬）
回 収	郵送回収。総回収数 2,463 票。

表 2 市民アンケートの調査項目

分類	調査項目
回答者属性	年齢・性別、職業、居住地、免許の有無など
外出移動実態	移動目的別の行き先、交通手段、頻度など
公共交通利用実態	利用頻度、現行公共交通の評価・問題点など
施策の方向性	公共交通維持に向けた市民負担への考え方、取り組むべき施策など
新たな交通システム	DMV やデマンドタクシーの利用意向 など

## 2. 回答者属性

### (1) 性別・年齢

回答者の男女構成では女性の割合がやや多く、年齢構成では65歳以上の割合が過半数を占める。

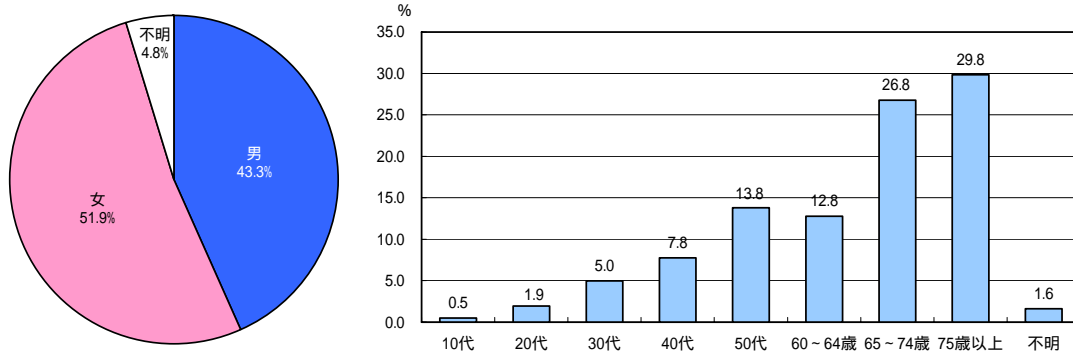


図1 回答者の性別・年齢構成

### (2) 職業

職業構成では無職が40%を占め最も多く、次いで主婦の21%、会社員の13%などの割合が多い。

職業	人
会社員	327
公務員	139
自営業	174
学生	7
主婦	517
無職	986
その他	257
不明	56
合計	2,463

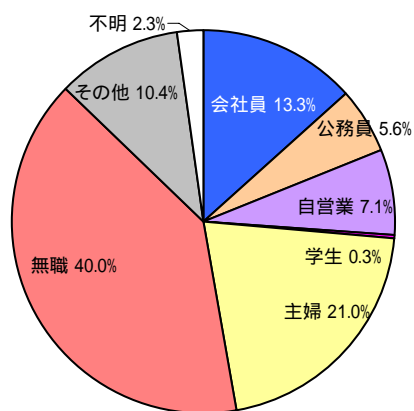


図2 回答者の職業構成

### (3) 住所

回答者の住所構成では、清水沢地区が34%と最も多く、次いで本庁21%、若菜13%、紅葉山12%などの地区の割合が多い。

地区別人口と比較した回答率（回答数÷人口）を見ると、滝ノ上地区でやや回答率が低く、本庁地区や楓・登川地区ではやや回答率が高い傾向にある。

表3 地区別の回答数と人口

住所	回答数	人口	÷
本庁	513	1,961	26.2%
若菜	328	1,331	24.6%
清水沢	833	3,744	22.2%
南部	129	581	22.2%
沼ノ沢	190	943	20.1%
真谷地	58	234	24.8%
紅葉山	303	1,216	24.9%
楓・登川	33	128	25.8%
滝ノ上	25	147	17.0%
鹿島	0	1	0.0%
市内不明	51		
合計	2,463	10,286	23.9%

人口は平成24年10月末現在

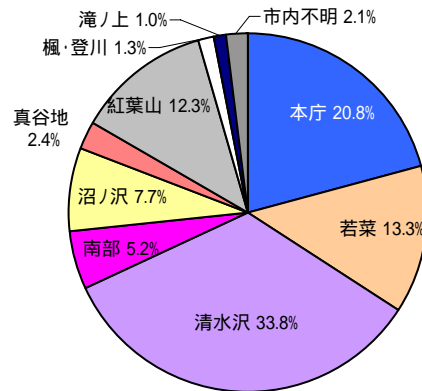


図3 回答者の住所構成

### (4) 世帯人数

回答者の世帯人数構成では、「2人世帯」が52%と過半数を占め、次いで「一人世帯（単身世帯）」が23%となっており、世帯人数が少ない割合が多い。

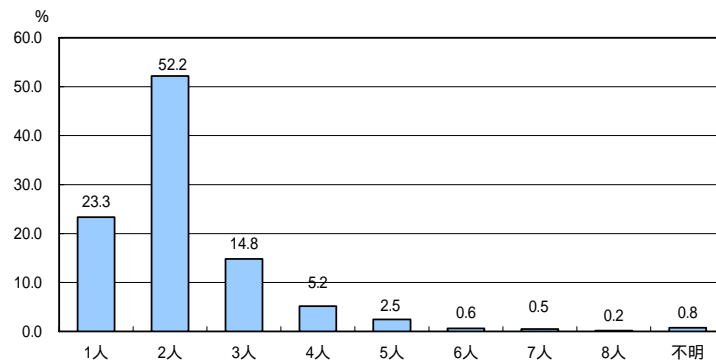


図4 回答者の世帯人数構成

(5) 自動車運転免許保有・ふだんの自動車運転

自動車運転免許を60%が保有しており、ふだん自動車を運転する方の割合は55%となっている。地区別に見ると、沼ノ沢地区と滝ノ上地区でやや免許保有率・自動車運転割合が高く、真谷地地区でやや低い傾向にある。

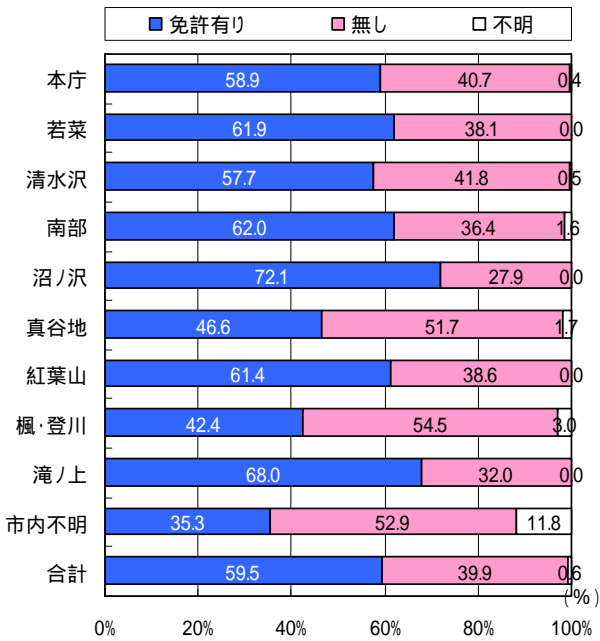
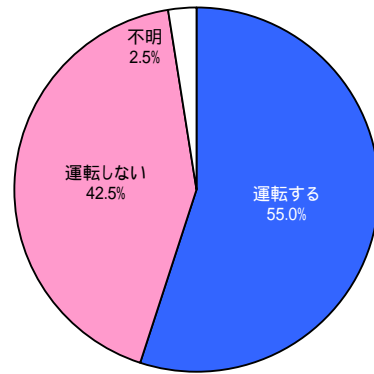
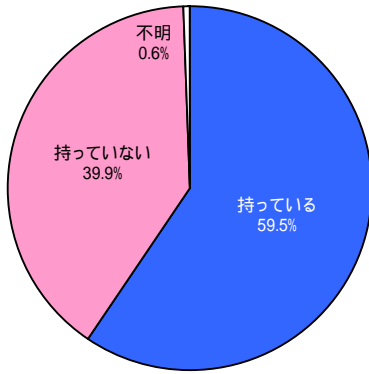


図5 回答者の自動車免許保有の有無  
(上：全体集計、下：地区別集計)

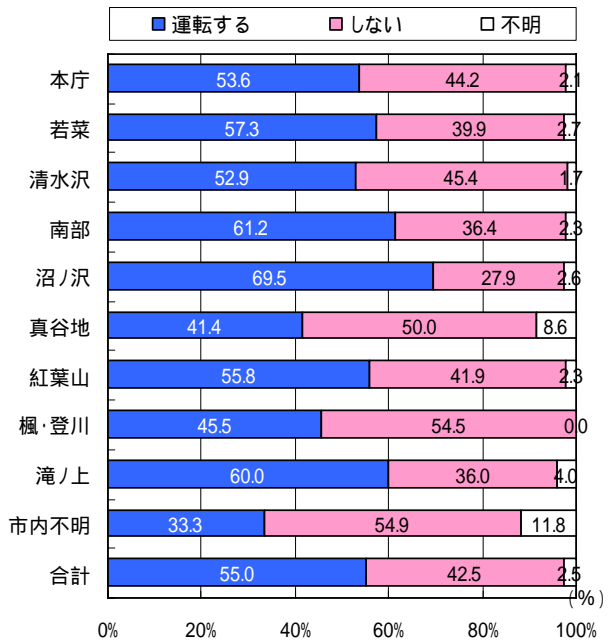


図6 回答者のふだんの自動車運転の有無  
(上：全体集計、下：地区別集計)

### 3. 外出移動実態

#### (1) 目的別外出頻度

目的別に外出頻度と交通手段と行き先を設問している。目的別の外出頻度をみると、「通勤通学」では週5日以上の頻度が多く、「通院・治療・介護」では月2～3回以下の頻度が多い。また「日常の買い物・飲食」では週1回程度の割合が多く、「娯楽・交友」では月2～3回以下の頻度が多い。

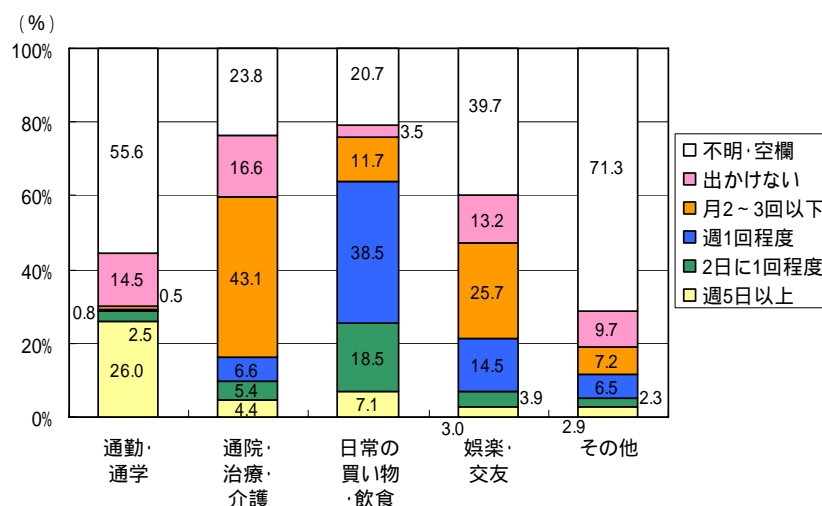


図7 目的別外出頻度

#### (2) 目的別交通手段構成

目的別の交通手段をみると、いずれの目的においても自動車の割合が最も多い。

また、路線バスとJRの手段割合が比較的大きい目的は、「通院・治療・介護」「娯楽・交友」となっているが、これらの目的での利用頻度は月2～3回以下など頻度が低いいため、公共交通の利用数自体は少ないと考えられる。

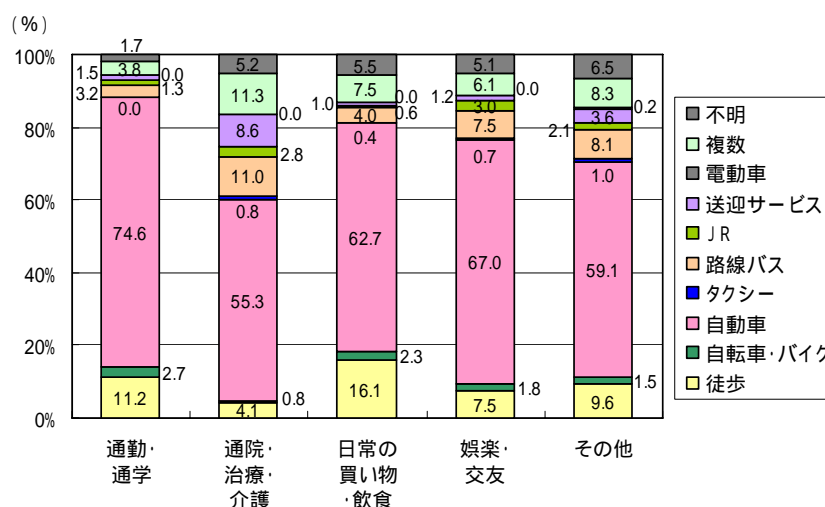


図8 目的別交通手段構成

手段構成の集計は頻度の大小による重み付けは行っていない。

### (3) 公共交通の需要

外出移動の実態に関する回答結果から、交通手段に「路線バス」「JR」を含む移動について集計した。

市内の地区間の移動は「本庁～若菜～清水沢」が多く、地区内では「本庁内々」「清水沢内々」が多い。また市内外の移動は「本庁～札幌・栗山方面」「清水沢～札幌・栗山方面」が多い。

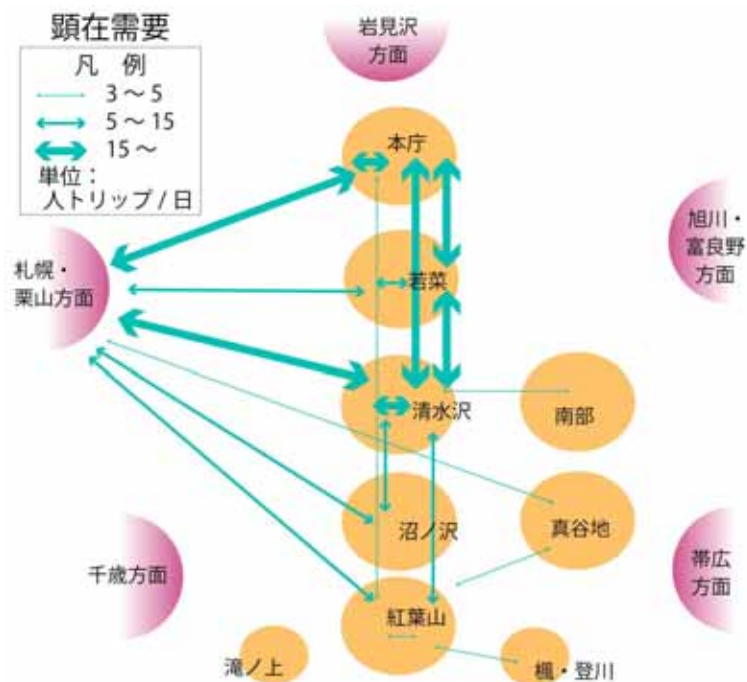


図9 公共交通の顕在需要（サンプル集計）

サンプル集計：アンケート回答結果（サンプル）を集計した値のこと。

#### (4) 潜在的な需要

前述の公共交通移動には該当しない移動のうち「タクシー」「送迎サービス」「自動車による送迎」を含むものについて集計した。

市内の地区間の移動は「清水沢～紅葉山」が多く、地区内では「本庁内々」「清水沢内々」が多い。また市内外の移動は「本庁」「若菜」「清水沢」から「札幌・栗山方面」が多い。

「免許非保有」または「ふだん運転しない」回答者の「自動車」での移動

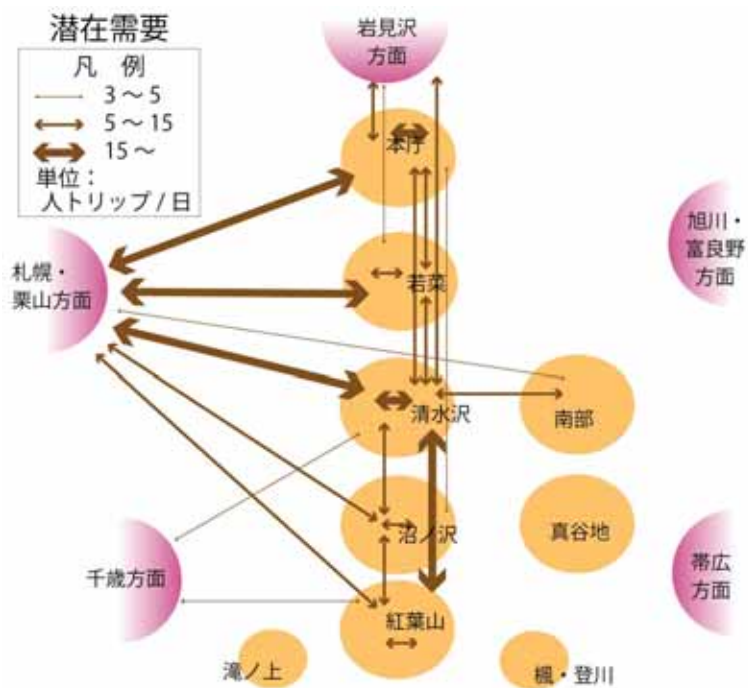


図 10 公共交通の潜在需要（サンプル集計）

#### 4. 公共交通の利用実態と評価

##### (1) 最寄り公共交通機関アクセス

自宅から最寄りの交通機関まで「遠い（20分以上かかる）」と答えた方の割合は、JR 駅については 27%、バスについては 2% となっており、大多数の回答者は公共交通カバー圏に含まれている。

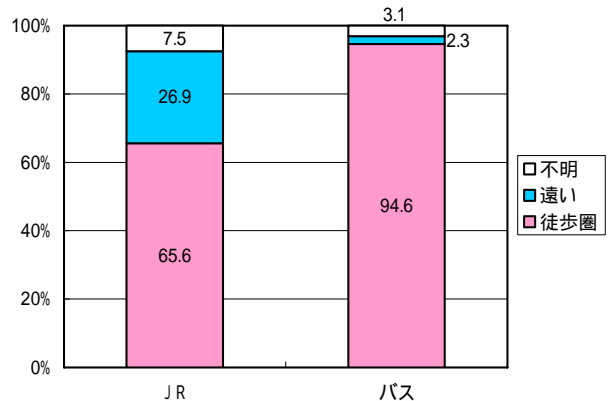


図 11 自宅から最寄りの公共交通機関まで

##### (2) 公共交通の利用頻度

JR とバスを比較するとバスを日常的に利用している割合のほうが大きい。

しかし、JR・バスともに「ほとんど利用しない」が 6～7 割を占め、日常的に利用している人の割合は少ない。

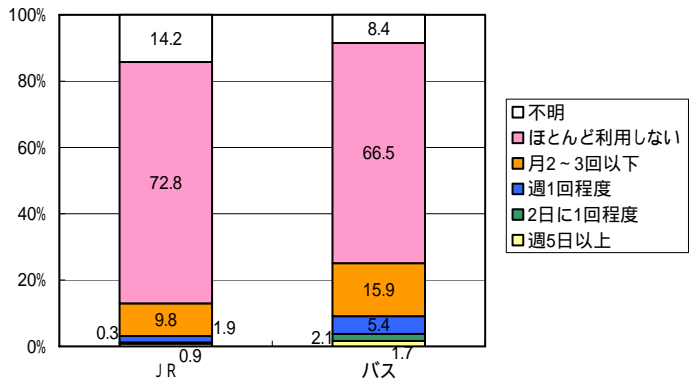


図 12 公共交通（JR・バス）の利用頻度

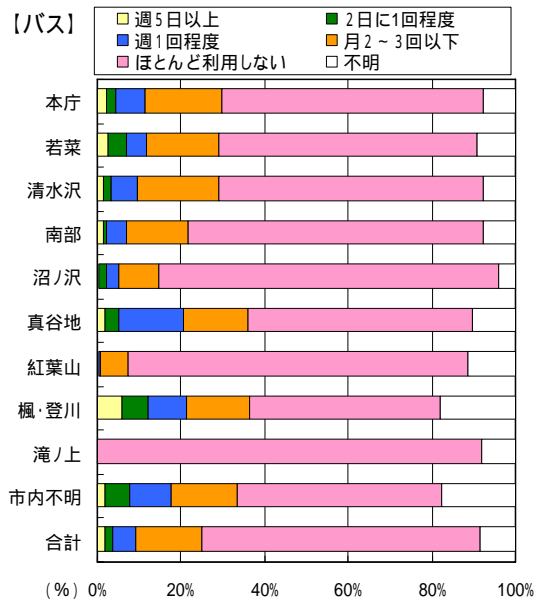
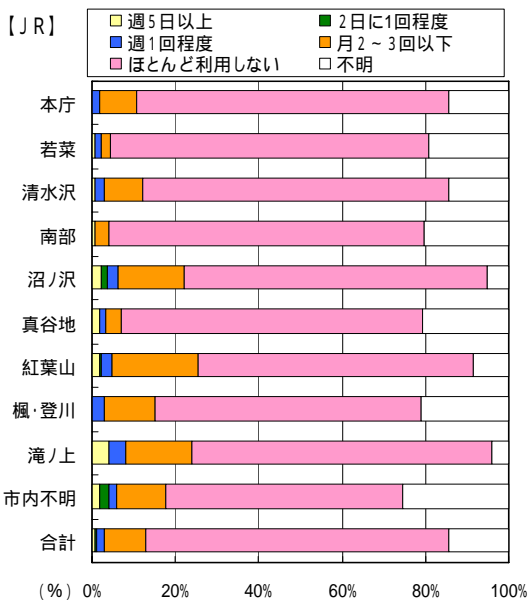


図 13 居住地区別の公共交通（JR・バス）の利用頻度



### (3) 市内の公共交通サービスの評価

「利用しないのでわからない」と答えた方が多いが、「満足」または「おおむね満足」の肯定的な評価よりも、「不満」「やや不満」の否定的な評価が上回っている。

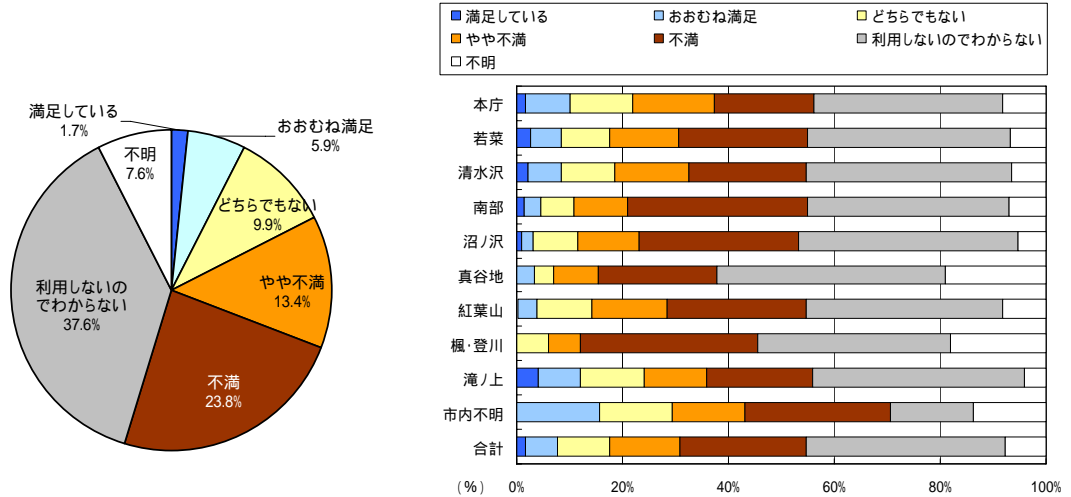


図 14 夕張市内の公共交通に対する評価

### (4) 公共交通の問題点

市内の公共交通サービスの問題点について、選択肢ごとの指摘率を見ると、「バスの本数が少ない(58%)」「バス運賃が高い(29%)」「JRの本数が少ない(28%)」「バスに朝早い便・夜遅い便がない(27%)」といった内容が多い。

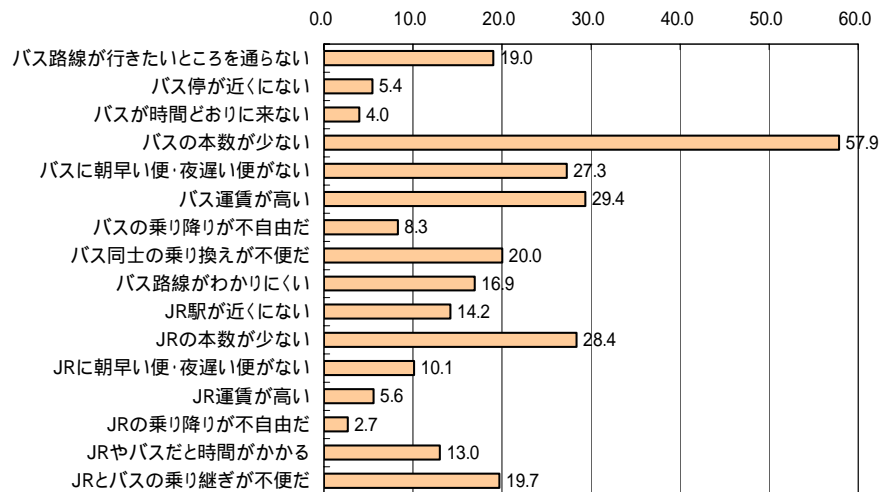


図 15 市内の公共交通サービスの問題点指摘率

表 4 その他の問題点指摘

交通機関	内容分類	意見数	問題指摘の例
選択肢の問題点について	バス	バス路線が行きたいところを通らない	3 南清水沢から、南支所へ行くバスがない。
		バス停が近くにない	5 バス停が近くに無い為、雨、吹雪の時15分も歩くのがつらいです。
		バスが時間どおりに来ない	1 冬場のバスの運行、岩見沢、札幌等本数が少ない。
		バスの本数が少ない	35 路線バスの使用したい時間帯がない。
		バスに朝早い便・夜遅い便がない	7 利用する人が少ないからあきらめもありますが、日曜日でも早朝便があったらと思う。
		バス運賃が高い	6 富野地区及び郡内への運賃が高すぎる。
		バス同士の乗り換えが不便だ	14 バスの乗り換え便が不足で不便である。不便で接続にタクシーを使用しなければならない。
	バス路線がわかりにくい	1 バスはどのバスに乗るとちゃんといけるかが解らないので不安で乗れない。	
	JR	JR駅が近くにない	4 若葉地区にJR駅がほしい。
		JRの本数が少ない	3 JRの本数が少なすぎる。1時間に1本は走ってほしい。
		JRに朝早い便・夜遅い便がない	2 JRの急行列車最終時間が早すぎる。
		JRとバスの乗り継ぎが不便だ	12 バスと列車の乗継が悪い。
バス	バス路線について	32 目的地に行くのに遠まわりするので時間と料金がかかりすぎる。	
	バスの通学利用	12 学生中心でバスの時間が決まっている。バスは会社に通う人の事を考えていない。祝日にバスがない。	
	バス車両について	15 低床バスがない。	
	バス停について	5 バス停の除雪が悪い。バス停に外灯が無い所がある。	
	回送車について	5 他地区から南部で用事をして帰るバスが無い。回送に乗れたらと思う。	
JR	JR駅について	8 JR新夕張駅の足の不自由な人には階段が大変です。	
	JR路線について	2 JRで札幌市まで直通(普通列車)がない。	
バス・JR	乗り継ぎ・接続について	8 南支所に用事を足すときバスの便、JRを利用するのに不便。年寄りのことを考えているとは思えない。	
	時刻表について(時間がかたよっている等)	4 バスJRの本数が少ないのに同じ時間帯で運行している。	
	乗客について(利用者数等)	3 バス、JRの車内に客が少ない。1~2人の時がある。	
その他	車を利用している	19 バスもJRも本数が少なく不便なので、車に乗るしかない。	
	利用していない	13 バス・JRは利用しない。	
	不便	8 通勤等に使うには、不便なので殆ど利用する事はない。	
	交通マナー	5 運転手の態度が悪いので、バスの場合乗りたくない。	
	今後利用したい	5 現在は自家用車でバスもJRも利用してない。そのうちにご利用します。	
	将来への不安	3 今の所まだ車を利用できますが、そのうち(バス・JRを)利用しなければなりません、今のままでは別の事を考えなければなりません。	
	その他	35 お客さんは一人か二人で乗る人が少ない時間だからといって、この時間をなくしてもらっても困ります。	

## 5 . 生活交通の今後のあり方

### ( 1 ) 夕張市の公共交通の方向性

市民アンケート調査における、「これからの夕張市の公共交通の方向性として、考えに最も近いものを1つ選んで下さい」との設問については、「市の費用負担を変えない範囲内で、できるだけ便利な公共交通にする」と答えた方が最も多く、次いで「今より不便にならない範囲内で、市の費用の負担を少なくする」であった。

この結果から、現状の交通利便性と行政負担を互いに悪影響を与えない範囲で、それぞれ改善していくことが望まれている。

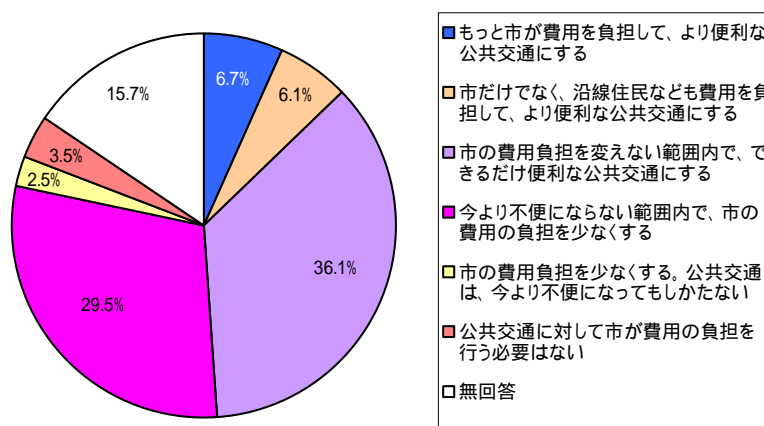


図 16 夕張市の公共交通の方向性

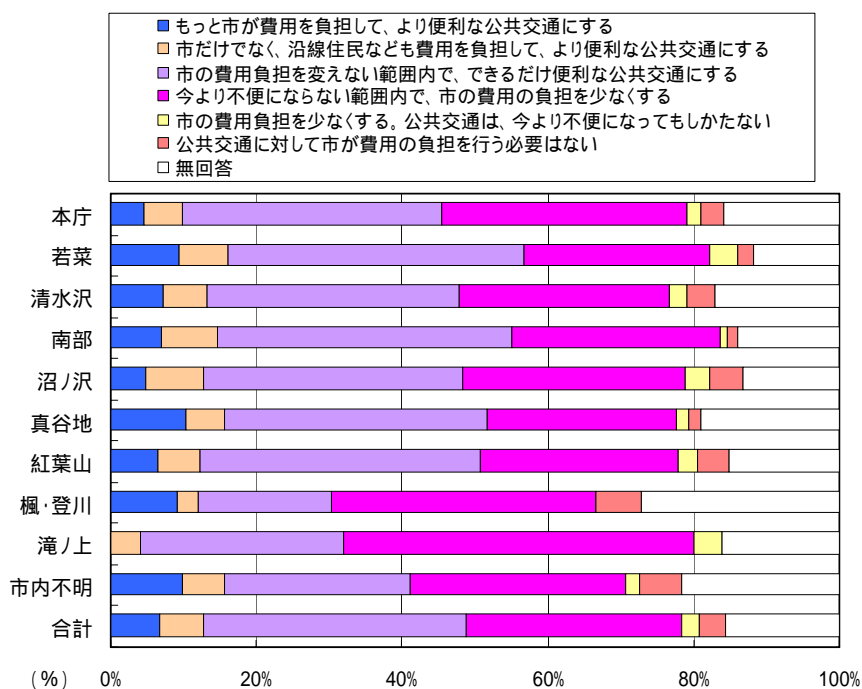


図 17 夕張市の公共交通の方向性 (居住地区別集計)

## (2) 力を入れるべきと思う「取り組み」

複数回答可。指摘率集計。

「これから、力を入れるべきと思う「取り組み」を選んで下さい(複数回答可)」という設問については、「公共交通が利用しやすいコンパクトなまちづくりをする」と答えた方が最も多く、半数を占め、次いで「市民や企業が協力して、もっと公共交通を使うようにする」や「鉄道や路線バスよりも運行経費が少ない交通システムへ入れ替える」も4人に1人の割合で指摘された。

この結果から、「コンパクトなまちづくり」に寄与し、「鉄道より運行経費が少ない」DMVを導入する取り組みは、市民の多数から支持される可能性が高いと考えられる。

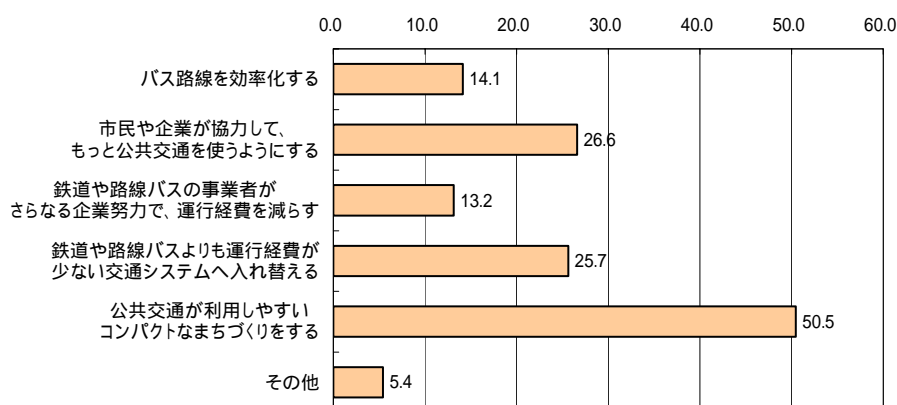


図 18 力を入れるべきと思う取り組み

表 5 力を入れるべきと思う取り組み(居住地区別集計)

取組の指摘率 (%)	本庁	若菜	清水沢	南部	沼ノ沢	真谷地	紅葉山	楓・登川	滝ノ上	市内不明	総計
バス路線を効率化する	12.9	22.3	13.8	7.0	12.1	3.4	16.8	15.2	4.0	5.9	14.1
市民や企業が協力して、もっと公共交通を使うようにする	27.1	27.4	27.0	31.8	28.4	31.0	22.8	15.2	16.0	19.6	26.6
鉄道や路線バスの事業者がさらなる企業努力で、運行経費を減らす	15.8	11.9	12.5	14.7	12.1	12.1	11.9	9.1	12.0	17.6	13.2
鉄道や路線バスよりも運行経費が少ない交通システムへ入れ替える	27.9	22.3	21.6	34.9	27.9	41.4	26.1	30.3	32.0	33.3	25.7
公共交通が利用しやすいコンパクトなまちづくりをする	49.9	48.5	53.3	44.2	51.6	36.2	55.4	30.3	60.0	29.4	50.5
その他	5.1	4.9	5.8	5.4	5.8	3.4	5.6	6.1	0.0	9.8	5.4

( 3 ) 生活交通に対する意見 ( 自由回答 )

表 6 生活交通に関する意見 ( 分類整理 ) ( 1/2 )

交通機関	内容分類	意見数	問題点指摘の例
J R	路線	3	J Rもバスも幹線のみで良いと思う。又不便である。
	駅	15	J Rの駅は階段が多すぎて年寄りにはとっても負担で困る
	時刻・便数	36	とにかく不便。J Rバス共に本数が少な過ぎる。
	運賃	3	J Rバスにしても本数が少なく運賃が高い(他の市町村に比べて)
	車両	3	乗客数が少ないので、もっと乗車定員数の少ないもの(経済的になるもの)を走らせるべきでは?現状を見ると空気を運んでいるようなものです。
	利用者数等	7	ノーマイカーDAYなど企業・役所の職員も交通機関の利用を図ることをやるべき。通学(中学生)にJ R利用も可能と思われる
	不便	3	J Rは駅の近くはむしろ住宅が少なく不便。しかし通学には必要。
	接続	21	列車とバスの乗継ぎが出来るようにして欲しい。
	必要	8	今の自分の家では列車やバスには乗りませんが、なくなったら大変な人が多くいると思います。今の列車バスもなくなったら困ります。
	不要	1	バスの便数を増やせばJ Rは不要では?
	その他	5	J R・バス・タクシーなど一体になった時刻案内があると良い。
バス	路線	57	路線バスを増やしてほしい。特に清水沢方面の路線を改善してほしい。
	駅	18	もう少しバスの乗り場を増やして欲しい。乗り場があまり遠くて困るし、どこで乗り降りして良いかわからない。
	時刻・便数	145	自分は、運転免許も持っていない為、バスを利用しているのですが、回数、本数があまりにも少ないので不便です。
	運賃	39	バス料金をもう少し下げて頂ければ良いと思う。
	車両	51	路線バスの運行を大型バスではなくマイクロバスまたは10人乗り位のボンゴ車に変えたらいかがでしょう。大型バスに乗客が1名か2名では?
	利用者数等	19	まずは、市民が公共交通を少しでも利用するように努めるべき。
	不便	15	バスが学生中心になっているので、以前より不便になった。
	他の乗り物への転換	11	バス料金が高いので利用しづらい。相乗りでタクシーを利用した方が、安く家から目的地へ行けて便利。
	接続	33	J Rとバスの時間をつなげるようにしてほしい。
	必要	14	路線バスの現状維持をお願いします
	赤字・経営	5	D M V導入で既存の地元バス会社に影響(倒産)が出るなら要らない。
	フリー乗降	10	停留所以外に手を上げてバスが止まり客を乗せるシステムが良い。
	その他	39	ボランティアを使っのコミュニティバスが良いのではないかな。
タクシー	乗合タクシー	33	乗り合いタクシーなどがあれば、高齢者、弱者には必要と思います。
	営業時間	3	車を使用しなくても交通機関を使えるようでありたい。タクシーも時間で使用できずバス列車のない時間帯で利用できない現実でもあるのです。
	運賃	9	バス料金やタクシー料金が高い。特にタクシーは気軽には乗れません。
	車両台数等	4	タクシーも台数が少なく、冬期間は大変。
	利用	6	バスが循環式になったら生協まで行く時はバスで行っても、帰る時はどうしてもタクシーになってしまう。
	その他	3	D M V導入を先に考えたのでそれが良いとなるとタクシーの方はまだ考えることはない。

表 7 生活交通に関する意見（分類整理）（2/2）

交通機関	内容分類	意見数	問題点指摘の例
自家用車	主に利用	11	J Rを利用していましたがとても不便（本数が少ない）で、今はマイカーを利用しているので公共交通は利用していません。
	運転	27	自家用車を運転出来なくなった時の後が心配。
	送迎	4	日曜日に子供たちがクラブ活動行くのにバスが出ていなくて不便です。何時も自家用車で送り迎えして大変です。
	車がないと不便	20	自動車があれば不便で生活が厳しい。
	公共交通への転換	7	特に市の職員が模範になり、マイカー通勤から、公共機関を利用し、市民の啓発に努力してほしい。
	その他	6	自分の車で動けるのであまり考えたことがない。
DMV	路線	2	DMVはホテルから夕鹿の湯への運行、夕張の大きな行事がある時に動かすと良い。
	時刻・便数	3	DMVや乗合タクシーが実現すれば、とても明るいニュースですね。車を利用する私ですが、料金・時間の問題がクリアされればぜひ利用したい。
	運賃	2	交通の便が良く料金が低いなら、DMVでも乗合タクシーでも良い。
	車両	1	乗降の楽な段差が少なくすると、老人が乗降しやすくなります。
	接続	1	列車もDMVに移行して、バスと乗り継げたり出来ると良いと思います。
	導入賛成	12	DMVを利用することは賛成です。料金本数など、市民に負担にならないようにしてほしい。
	導入反対	5	DMV導入で既存の地元バス会社に影響（倒産）が出るなら要らない。
	その他	3	大雪の夕張では、DMVで大丈夫なのかと廃線にならないかと心配です。
その他	コンパクトなまちづくり	35	広い地域の路線を残す事は難しいと思います。もう少し、コンパクトにまとめたまちづくりが必要と考えます。
	財政・費用負担等	11	そもそも収入と収支が合っていないのだからどうしようもない。市民のことを思うなら借金を返してから考えれば良いと思う。
	移動販売や店舗・病院の送迎	16	清水沢に買い物に行きたいが、用事を済ませた後、交通手段が悪いため、面倒になり、市外の送迎バスを使う事が多くなる（実際は夕張市内で買物をしたいのです）。
	不便	26	不便な所ですので、よその人に頼んで行ってます。本当に困っています。
	住民意識	4	市民が公共交通を利用する意識を高める取り組みは大切だと思います。
	高齢化に伴う公共交通問題	26	自家用車を持たず、運転も出来ない高齢者には外出時の交通機関が必須の頼りで、生活上での食物の購入などが一番困難事となっております。交通手段の考慮を期待致します。
	公共交通全般について	44	路線バス JR 等が廃止になりましたら、弱者「いじめ」の何ものでもありません。生活困窮者をつくり出すだけです。どうか車の無い者を助けて下さい。安心して住める町を作ってください。
	現状のままでいい	5	市内の交通機関は利用しづらい。万一交通機関がなくなっても店の買い物バスや生協のトドックがあるので不安はない。通院は井川病院、長沼病院等いくらでもあるので、不自由ではない。地元では中條医院もずっと以前から自家用車を使用している。仲間内でも自家用車の相乗りで利用しているので不安はない。
	道路整備・除雪等	9	自動車がメインなので冬期の除雪をもっと早くして欲しい。
その他	55	夕張は暮らしやすい町なので早く明るい町になってほしい。	

## 6 . DMVについて

### ( 1 ) DMVの認知度

「DMVを知っていますか」という設問については、「知っていた。」が約3分の2を占めており、DMVの市民認知度は高い。

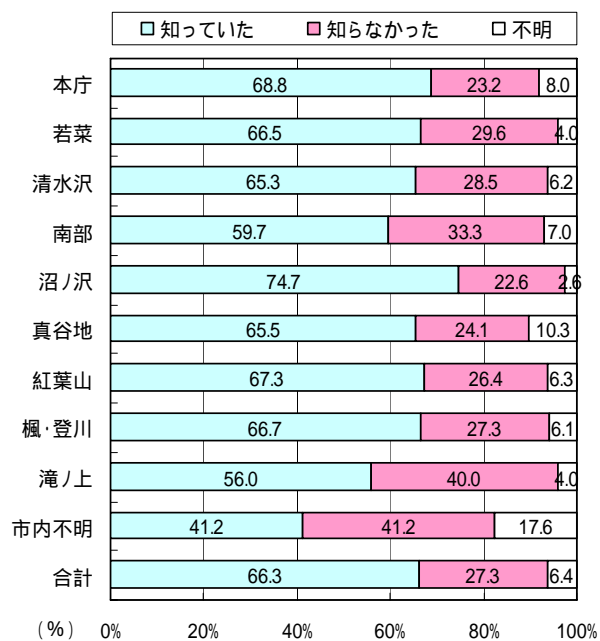
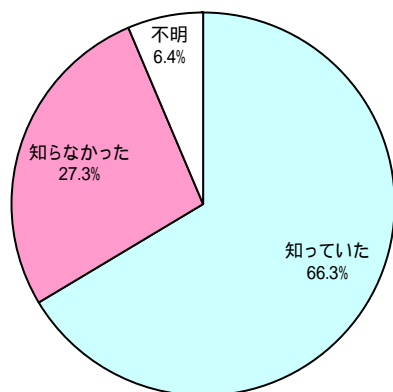


図-19 DMVの認知度

(2) DMV導入に対する意向・導入条件・反対理由

「夕張市でDMVを導入することを、どう思いますか」という設問については、「(以下の条件を満たせば) 歓迎する」が最も多く65%を占めた。

その条件として挙げられている項目は、「列車より料金が高くないこと」が最も多く73%を占め、次いで「列車より便数が減らないこと」が65%となった。

現在の鉄道のサービス水準を維持することができれば、市民からDMVは歓迎して受け入れられる割合が高いものと考えられる。

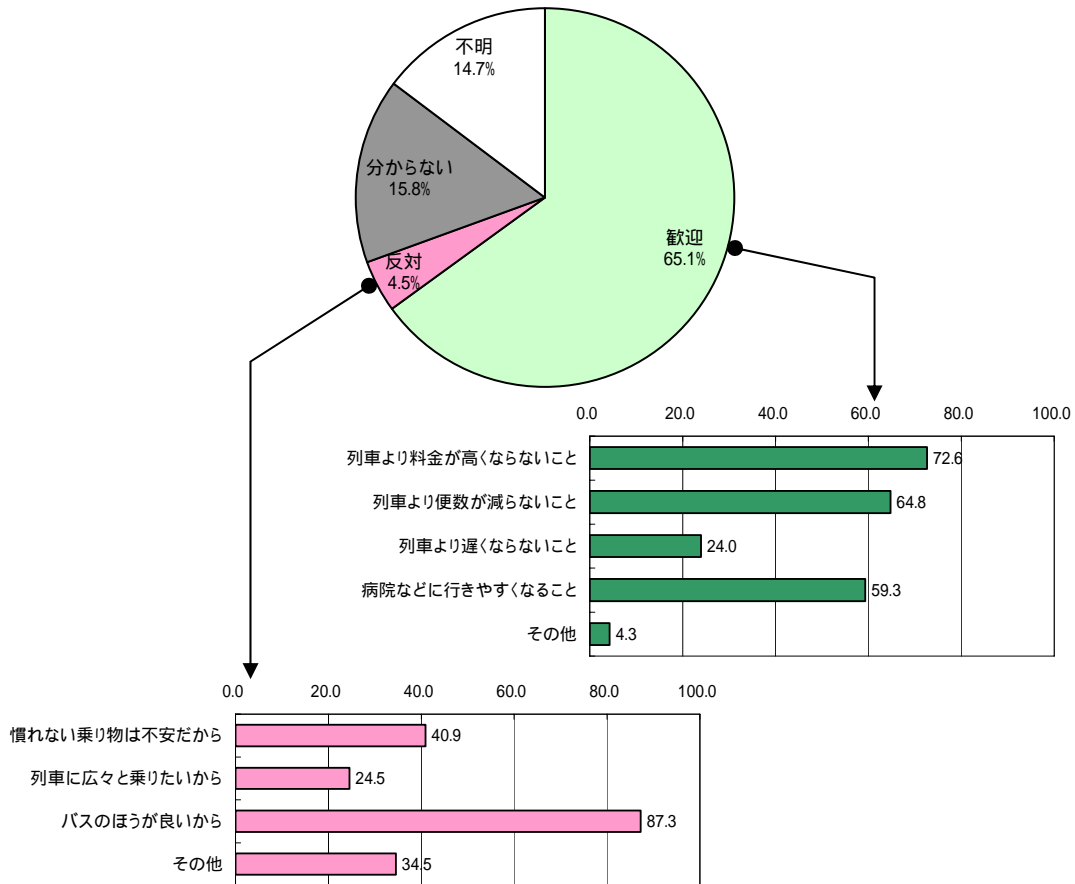


図-20 DMV導入に対する意向・導入条件・反対理由

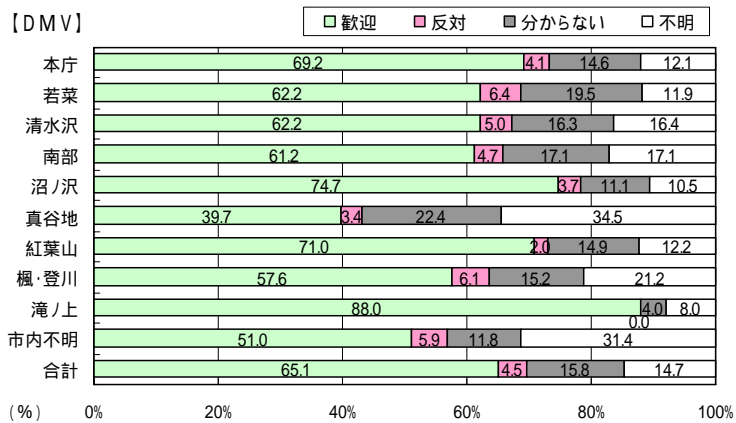


図 21 地区別に見たDMV導入に対する意向



## 7. 乗合タクシーについて

「夕張市で乗合タクシーを導入することを、どう思いますか」という設問については、「(以下の条件を満たせば) 歓迎する」が最も多く 56% を占めた。

その条件として挙げられている項目は、「バスより料金が高くないこと」が最も多く 72% を占め、次いで「当日でも予約できること」が 70% となった。

地区別で見ると、真谷地地区や楓・登川地区で「歓迎する」割合が比較的少なく、「分からない」や「無回答」が多い傾向にある。

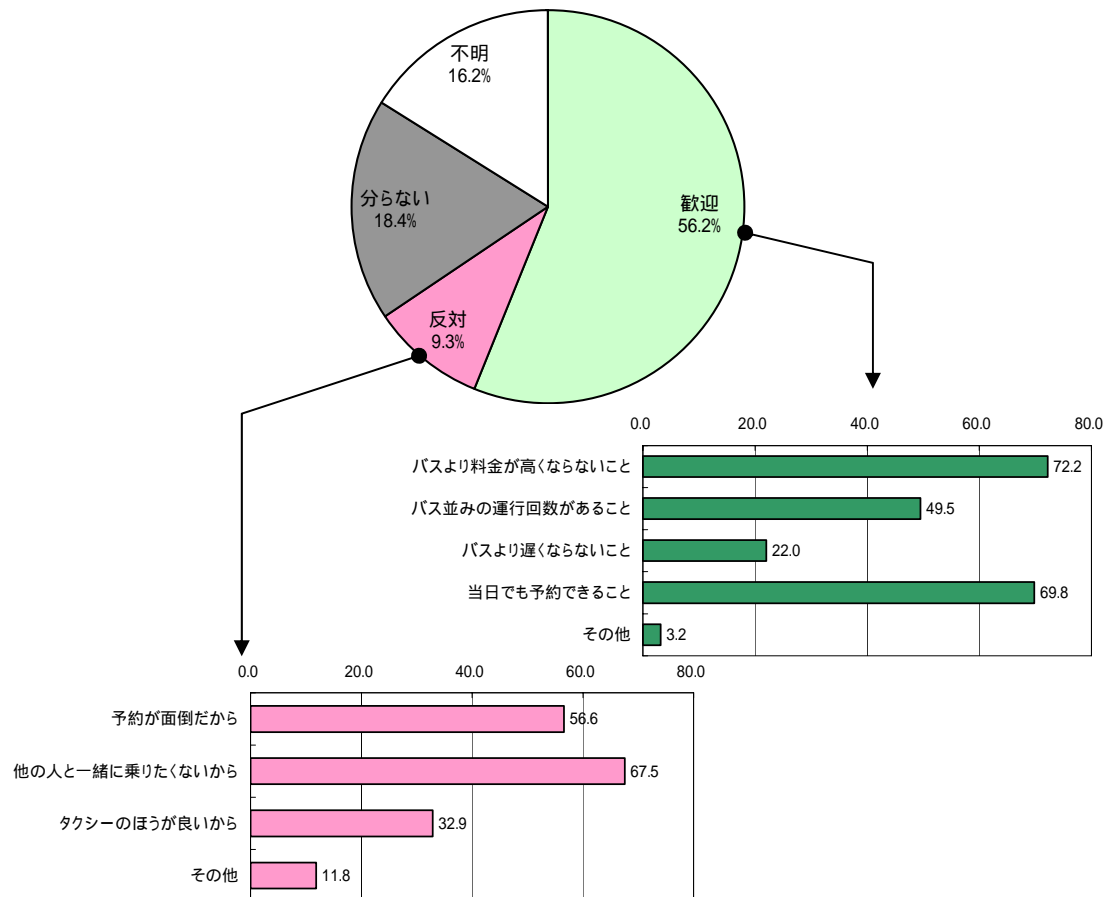


図-22 乗合タクシー導入に対する意向・導入条件・反対理由

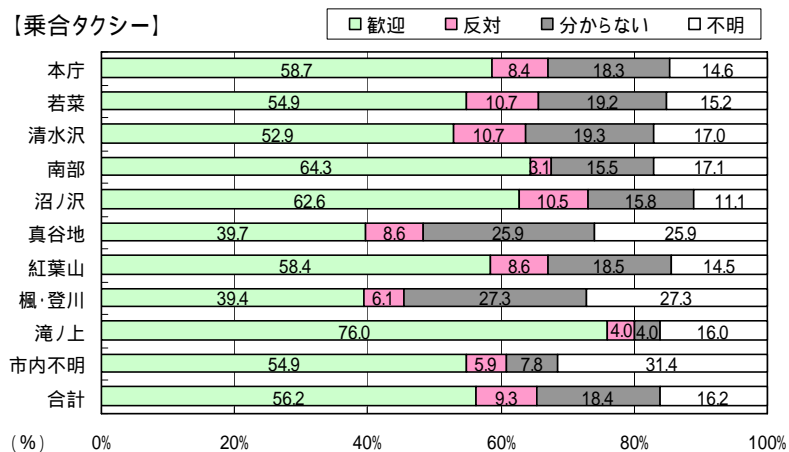



図 23 地区別に見たDMV導入に対する意向

**問5 新たな交通システムについて。**

列車や路線バスよりも、小型で経費が少ない交通システムとして、『DMV』や『予約制乗合タクシー』などがあります。

『DMV (ディー・エム・ブイ)』とは  
 線路と道路の両方を走ることができる、列車よりも運行経費が少ない乗り物です。



『予約制乗合タクシー』とは  
 予約客の自宅を回って、相乗りで運行するタクシーです。



問5 - 1 DMVを知っていますか。

1. 知っていた。      2. 知らなかった。

問5 - 2 夕張市でDMVを導入することを、どう思いますか。

1. 以下の条件を満たせば歓迎する。      2. 以下の理由で良くない。      3. 分からない。

- <条件> (いくつでも可)
1. 列車より料金が高くないこと。
  2. 列車より便数が減らないこと。
  3. 列車より遅くならないこと。
  4. 病院などに行きやすくなること。
  5. その他 ( )

- <理由> (いくつでも可)
1. 慣れない乗り物は不安だから。
  2. 列車に広々と乗りたいから。
  3. バスのほうが良いから。
  4. その他 ( )

問5 - 3 夕張市で『乗合タクシー』を導入することを、どう思いますか。

1. 以下の条件を満たせば歓迎する。      2. 以下の理由で良くない。      3. 分からない。

- <条件>
1. バスより料金が高くないこと。
  2. バス並みの運行回数があること。
  3. バスより遅くならないこと。
  4. 当日でも予約できること。
  5. その他 ( )

- <理由>
1. 予約が面倒だから。
  2. 他の人と一緒に乗りたいから。
  3. タクシーのほうが良いから。
  4. その他 ( )

問5 - 4 夕張市の生活交通についてご意見をご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。ご記入済みのアンケート調査票は、返信用封筒に入れ、10月31日(水)までに投函して下さい。切手は不要です。

**生活交通ネットワーク検討に関する夕張市民意識調査**

アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、市政に対する日頃からのご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。今回の調査は、市民の方々の、「普段の移動交通手段」「現在の公共交通への評価」「今後の生活交通ネットワークへのご意見」などをお聞きするものです。お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力下さいますようお願いいたします。調査票は2枚入っています。可能であれば、ご家族2名に回答をお願いします。お一人のみ回答くださる場合は、残りの1枚は破棄してください。調査結果はすべて統計データとしてのみ使用いたしますので、回答者ご本人およびご家族の方にご迷惑をおかけすることはございません。なお、お答えいただいた本アンケート調査票は、返信用封筒にて平成24年10月31日(水)までに返信くださるようよろしくお願いします。

2012年9月 夕張市地域公共交通協議会(事務局:夕張市役所まちづくり企画室)

**【ご記入のお願い】**  
 ご回答は、各質問文にそって、内のあてはまる番号を で囲むか、( )内に語句、数字等を記入して下さい。  
 調査の実施(回収・分析等)は、下記の調査機関に委託しております。  
 問い合わせ先 ドーコン(株) 総合計画部 担当:岡本・生沼  
 TEL 011-801-1555 FAX 011-801-1556

**問1 あなた自身のことについてお尋ねします。**

問1 - 1 あなたの性別および年齢は?      1. 男      2. 女

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 10代    | 2. 20代   | 3. 30代    |
| 4. 40代    | 5. 50代   | 6. 60~64歳 |
| 7. 65~74歳 | 8. 75歳以上 |           |

問1 - 2 あなたの職業は?

1. 会社員    2. 公務員    3. 自営業    4. 学生  
 5. 主婦    6. 無職    9. その他 ( )

問1 - 3 あなたのお住まいは?  
 (郵便番号を記載してください)

郵便番号 (    -    )

郵便番号が分からない場合は「本町4丁目」など町名・丁目を余白に記入下さい

問1 - 4 あなたの家族構成は?      ご自身を含めて ( ) 人家族

問1 - 5 あなたは、自動車運転免許をお持ちですか。      1. 持っている      2. 持っていない

問1 - 6 あなたは、ふだん自動車を運転しますか。      1. 運転する      2. 運転しない

問1 - 7 自宅から最寄りの公共交通機関(JR駅またはバス停)まで、徒歩で何分ほどかかりますか。

- 【JR駅】**
1. 駅まで徒歩 ( ) 分
  2. 駅は遠い(徒歩20分以上)

- 【バス停】**
1. バス停まで徒歩 ( ) 分
  2. 近くにバス停が無い(徒歩20分以上)

**問2 あなたの普段の外出について お尋ねします。**

問2-1 以下 ~ のすべての目的について、  
 どれくらいの頻度で出かけるのか、  
 主にどこの地区に行くのか、  
 そこに出かける際、最もよく利用する交通手段は何か、をご記入下さい。

注意！  
 ~ 全ての目的について回答ください。

	出かける頻度	行き先	主な交通手段
	下の1~5から選んで番号を記入。 1. 週5回以上 2. 2日に1回程度 3. 週1回程度 4. 月2~3回以下 5. 出かけない	<市内の場合> 町名など「住所」を記入。 住所が分からない場合は、施設名も可。  <市外の場合> 「市町村名」を記入。	下のA~Gから選ぶ。 あてはまらない場合は直接記入。 A. 徒歩 B. 自転車・バイク C. 自動車 D. タクシー E. 路線バス F. JR G. 送迎サービス
通勤・通学			
通院・治療・介護			
日常の買い物・飲食			
娯楽・交友			
その他 ( )			

【記入例】

	出かける頻度	行き先	主な交通手段
通勤・通学	1	本町	B
通院・治療・介護	5	-	-
日常の買い物・飲食	2	南清水沢	C
娯楽・交友	4	札幌市	E
その他 (サークル活動)	3	~の~センター	C

問2-2 日頃、JRまたはバスをどの程度の頻度で利用していますか。(1つに )

<p>【JR】</p> <p>1. 週5回以上 2. 2日に1回程度 3. 週1回程度 4. 月2~3回以下 5. ほとんど利用しない</p>	<p>【路線バス】</p> <p>1. 週5回以上 2. 2日に1回程度 3. 週1回程度 4. 月2~3回以下 5. ほとんど利用しない</p>
---	---

**問3 あなたの公共交通（JR・路線バス）に対する評価をお尋ねします。**

問3-1 現在の夕張市内の公共交通サービスについて、どのような印象をお持ちですか。(1つに )

1. 満足している    2. おおむね満足    3. どちらでもない  
 4. やや不満    5. 不満    6. 利用しないのでわからない

問3-2 現在の夕張市内の公共交通サービスには、どのような問題点があると思いますか。下にあげる選択肢のうち当てはまるものに を付けて下さい。(いくつでも可) 選択肢に無い問題点は、「その他の問題点」にご記入下さい。

- ア. バス路線が行きたいところを通らない。    ケ. バス路線がわかりにくい。  
 イ. バス停が近くにない。    コ. JR駅が近くにない。  
 ウ. バスが時間どおりに来ない。    サ. JRの本数が少ない。  
 エ. バスの本数が少ない。    シ. JRに朝早い便・夜遅い便がない。  
 オ. バスに朝早い便・夜遅い便がない。    ス. JR運賃が高い。  
 カ. バス運賃が高い。    セ. JRの乗り降りが不自由だ。  
 キ. バスの乗り降りが不自由だ。    ソ. JRやバスだと時間がかかる。  
 ク. バス同士の乗り換えが不便だ。    タ. JRとバスの乗り継ぎが不便だ。

その他の問題点 ( )

**問4 夕張市内の生活交通の今後のあり方について ご意見をお聞きます。**

マイカーの普及や少子化などで、公共交通の利用者数は、どんどん減っています。公共交通が無くなれば、「生活の足」が無くなってしまうため、赤字路線の維持のために、市が多額の費用を負担（H24年度：約1,300万円）しています。

問4-1 これからの夕張市の公共交通の方向性として、考えに最も近いものを1つ選んで下さい。

1. もっと市が費用を負担して、より便利な公共交通にする。  
 2. 市だけでなく、沿線住民なども費用を負担して、より便利な公共交通にする。  
 3. 市の費用負担を変えない範囲内で、できるだけ便利な公共交通にする。  
 4. 今より不便にならない範囲内で、市の費用の負担を少なくする。  
 5. 市の費用負担を少なくする。公共交通は、今より不便になってもしかたない。  
 6. 公共交通に対して市が費用の負担を行う必要はない。

問4-2 これから、力を入れるべきと思う「取り組み」を選んで下さい。(いくつでも可)

1. バス路線を効率化する(利用者の少ない区間を減らしたり廃止する)  
 2. 市民や企業が協力して、もっと公共交通を使うようにする。  
 3. 鉄道や路線バスの事業者がさらなる企業努力で、運行経費を減らす。  
 4. 鉄道や路線バスよりも運行経費が少ない交通システムへ入れ替える。  
 5. 公共交通が利用しやすいコンパクトなまちづくりをする。  
 6. 上記以外 ( )